

時田紅一郎

総来場者数4万人を超える関西大の統一学園祭。メインキャンパスの千里山での開催だけでなく、高槻キャンパスや堺キャンパスでのイベントも例年大きな盛り上がりを見せている。各キャンパスの特設ステージでは、学園祭実行委員会が主催するダンスコンテストや、有志の学生によるバンド演奏が行われるなか、1人の学生によるラップステージが注目を集めた。

ラップを行うのは時田紅一郎さん(文・3年)。北海道出身で現在は寮生活をしている。歌詞を自作し2年前から学園祭で披露している。自作のラップを始めたのは、高校3年。「ラップバトルの動画を見ていて、ほんの思いつきで始めた」と振り返る。作ったラップをアカペラで、仲の良い同級生に披露したことも。

初めてステージに立ったのは、大学1年。中高の学園祭ではあまり目立てなかったことがきっかけの一つだという。「前日のリハーサルでは、実行委員からの評判も良く、当日はお客様のウケも良かったのでうれしかった」と笑顔で話した。

Send me a light

作詞：時田紅一郎

Send me a light × 2 光をくれよ 千里山 (中略)

俺はあの日 いたんだ神戸
冬の人混みのなかに
紛れた遠出 目的地はきっと違う
歩く 大衆とは反対の方に
人の流れの先に見えるは
模造された光 巨大なオブジェ
まぶしすぎるリア充とルミナリエ
なんて振り向かないぜ

Send me a light × 2 俺の原点は 千里山

高槻キャンパスと堺キャンパスを含め、計5回学園祭に出演した時田さん。ステージを重ねるうちに、自身の中で変化したことも。「昔はコメディ色が強くて、お客さんを笑わせなかった。最近は自分のリアルを書いた歌詞が多い。お客さんの見たいものも自分のしたいことがずれているのかも。両立を目指して書いた歌詞もある(下記『Send me a light』)と話した。

昨年の冬には自身のラップを動画投稿サイト「ユーチューブ」に投稿。精力的に活動をしているが、来年の学園祭出演はまだ分らないと話す。「今まで見てくれた先輩たちが卒業して自分も就活が始まるので出ないかもしれない。こんなこと言っておいて来年には、出るって言ってさうだけ」と笑みをみせた。

【聞き手 松島裕規】



ステージで熱唱する時田さん
(11月5日・千里山キャンパス
撮影=松島裕規)



(C) UNN 2010

発行日 2016年 11月 14日

UNN関西学生報道連盟

配信・発行 (C) UNN 関西学生報道連盟 (公式 HP) <http://www.unn-news.com/>
 ■共同編集室 〒532-0011 大阪市淀川区西中島 4-2-24 ダイニホンビル 4F
 (TEL) 06-6307-1315 (FAX) 06-6829-6353 (MAIL) info@unn-news.com

FOCUSは

神戸大学ニュースネット委員会
 神戸女学院大学 K.C.Press 編集部
 同志社大学 PRESS 編集部
 NEWS 立命通信社
 関学新月通信社
 大阪大学 POST 編集部

関西大学タイムス編集部
 神戸女学院大学 K.C.Press 編集部
 京都女子大学 藤花通信編集部
 京都大学 CLOCK 編集部

の共同編集による週刊フリーペーパーです。



Vol.330